

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-2	事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定				
担当	清田区市民部地域振興課 鈴木 889-2400(223)						
全体計画							
事業内容	旧国道36号がもつ歴史・文化的な側面を生かした美しい景観づくりや緑と親しむ空間づくりを目指し、区民が利用しやすく、親しみを感じる「やすらぎ歩行空間プラン」を策定する。 現在整備している区役所周辺に引き続き、北野1条2丁目から清田1条1丁目の区間約1kmを対象として、沿線にある企業や地域住民と連携し、点在する桜並木などを生かしながら、歩行者や自転車に配慮した道路環境づくりを目指す。 このプランは平成22年度までに、地域住民や有識者、関係団体などで構成する会議において検討・策定する。			<年度別の事業内容>			
				(H20) ワークショップの開催、先進事例調査及び現地調査	(H21) ワークショップの開催及びプランの概要検討	(H22) ワークショップ、まちづくり会議の開催及びプラン策定	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	(対角線)			ワークショップの開催(3回) 6月 先進事例調査 8~9月 会議の立ち上げ、主旨説明等 10~11月 経過、概要説明及び住民等参加によるフリートーク 2~3月 イメージ創出・具体化検討 交通量等現地調査(実施予定) 旧国道36号線と清田通の交差点解析等			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
やすらぎ歩行空間プランの策定		-	-	検討	検討	策定	策定
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-2			事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定					
評価(成果)						課題					
区民や企業等が参加するワークショップの開催により、地域の特性や住民のニーズを把握することができる。 先進事例調査により、効率的にプラン(概要)の検討を進めることができる。 交通量調査などの現地調査を行うことにより、旧国道の利用実態を把握することができる。						平成14年に策定した「清田区役所周辺地区まちづくり構想」や、現在計画中である「厚別川右岸通間～道々真駒内御料札幌線間」の整備との調整が必要である。					
今後の事業の予定・方向											
23年度以降は策定した「やすらぎ歩行空間」プランに基づき整備計画を検討する。											
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	0		2,500		3,000		2,500		8,000	
	財源内訳	0		0		0		0		0	
	国・道支出金	0		0		0		0		0	
	市債	0		0		0		0		0	
予算	事業費	0		2,000		-		-		2,000	
	財源内訳	0		0		0		0		0	
	国・道支出金	0		0		0		0		0	
	市債	0		0		0		0		0	
実績	事業費	0		-		-		-		0	
	財源内訳	0		0		0		0		0	
	国・道支出金	0		0		0		0		0	
	市債	0		0		0		0		0	
事業費の進捗率		$\frac{(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費)}{(計画事業費)} = 25.0\%$									
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)											
(全体)											
[19年度]											
[20年度]											
既往予算(元気なまちづくり支援事業費)にて対応。 ワークショップ等運営費1,500千円(500千円)・・・事務経費の削減 現地調査500千円											